

のキルギス語のビーの音に當るものであつて、その權力の如きもまたほと同一であつた。これもまた、二千年來、その名稱に變化なきを知り得ると共に、その撰定の事情についても多分今と同様であつたらうと思はれる。勿論一旦定まつた靡ビの位置は世襲することになつて居つて、これも今日の事情と同様である。

ビーの勢力の加はるに従つて、その支配に歸する團體も漸次大きくなり、さうしてビーの名が此の新團體の名となるに至ることは、必ずしも遊牧民の間に限ることではないが、しかし彼等の間ではこれが極めて普通の現象として行はれたものであることが認められる。唐代に於る黠戛斯部族キルギスの事情を唐書に記して居る所によると、此の部族の一部の君長に阿熱といふものがあつて、之が勢を得て遂に黠戛斯部全體の君長即ち可汗カカンとまで成つたものであるが、これが爲に阿熱の部はその君長即ちビーに當るものゝ名を取つて阿熱部といふことになつたと記されて居る。南北朝の時代に中央亞細亞から印度の北方に亘つて勢力を振つた嚙噠エタタルといふ遊牧民の國があるが、此の國名はその國王の一人の名をそのまま取つたものである。かくの如く一國の名がその有力なる支配者の名から起つた例は左程多くないにしても、一姓若しくは一部族の名がかゝる事情によつて起つた例は一々枚擧に違ない次第である。

○支那の史籍の遊牧民に就いて記せるものは、屢々それが幾何の姓から成立して居るかを示して居る。假令ばトルコ族でいへば南北朝魏代の高車は十二姓、唐代の回鶻ウイグルは九姓、葛邏祿カルルクは三姓といふ類である。さて此の姓なるものはまた部とも稱せられて居るが、これは要するに或る同一人より系を引いて居る子孫後裔の全體をいふたもので、それぞれの名を有して居る。それで系統の上からいへば姓で、團體の上からいへば部と稱したものと思はれる。かくて姓の間には幾多の家族を含み、従つてまた幾多のアウルを含むで居る。それで九姓回鶻といへば、斯る特別の